

私

言葉のいへどいへころころ回る

↓「お嬢さんを私にくれさう」

奥さん

「よがしです。さしあがま
しよへい」

私

事のあまりにわけもなく進行した
のを考えて、 な気持ちに

〈けねど「き」〉

は定められたのだ
という観念…すべてを新たにした

← 落ち着いていられず表へ出る

★猿楽町・神保町・小川町・万世橋・

明神の坂・菊坂・小石川の谷へ

この長い散歩の間、ほとんど の
ことを考えなかった